

市
議
会
報

大 野

№. 36

54. 2. 1
発行 大野市議会
TEL 6-1111
(内線 303)
印刷 松浦印刷

12月定例市議会

12月定例会審議日程

- 15日 本会議（会期の決定、議案一括土程、提案理由の説明、決算特別委員会の設置）
- 16日～17日 休 会
- 18日 本会議（一般質問、各案件委員会付託）
- 19日 委員会（産業経済・建設常任）
- 20日 委員会（教育民生・総務常任）
- 21日 休 会
- 22日 本会議（各委員長報告、質疑討論、採決）

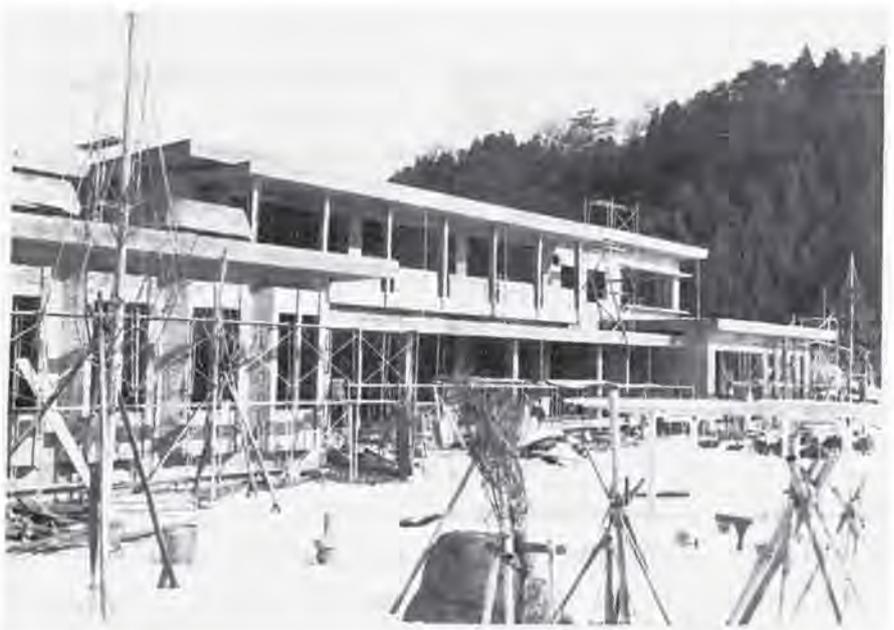


おもな案件

▼昭和53年度大野市一般会計補正予算
今回の補正では、1億6,822万2,000円を追加して、65億4,036万5,000円となりました。
補正の主なものは次のとおり。
〔歳 出〕
人件費3,530万円（職員給与を国家公

一般会計補正予算(1億6,822万円)など 16議案を可決・承認・同意

第176回12月定例市議会は、12月15日招集され、会期を22日までの8日間と定め、理事者から提出の議案17件を慎重審議いたしました。その結果、議案第71号昭和52年度歳入・歳出決算認定については、決算特別委員会を設置、委員を別掲のとおり選任し、この委員会に付託して継続審査とし、議案第75号大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例については賛成多数で、他の15議案については原案どおり全会一致で可決・承認・同意いたしました。また、市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、22日閉会いたしました。



3月完成を目指す老人福祉センター

務員に準じ、昭和53年4月1日にさかのぼって引き上げを行うもの)。退職手当組合負担金375万円。庁舎暖房工事190万円。篠座保育園建設補助293万円。生活保護扶助費2,037万円。水道建設事業会計繰出金480万円。ペイロード1台購入費610万円。勤労者生活安定資金預託金1,500万円。集落生活改善センター設置事業補助60万円。飼料作物作付推進家畜導入事業費補助102万円。増頭畜舎施設設置奨励事業補助200万円。県単土地改

良工事191万円。転作促進対策特別事業補助4,176万円。林道開設鬼谷線552万円の追加。広域基幹林道法恩寺線負担金60万円の追加。地場産業取引改善資金利子補給金100万円。中小企業為替変動対策緊急融資利子補給金466万円。六呂師駐車場舗装補助100万円。城町融雪井補修工事190万円。道路補修工事300万円。道路改良工事180万円。大野地区消防組合負担金242万円など。
〔歳 入〕

地方交付税8,362万円。分担金及び負担金115万円。国庫支出金1,674万円。県支出金5,209万円。諸収入1,510万円など。

**教育委員会委員
大谷氏の任命を同意**

大 谷 勉 (大正3.4.1生)
大野市篠座町4番5号

▼昭和53年度大野市水道建設事業特別会計補正予算 (第3号)

今回の補正では、4,675万5,000円を追加して、8億7,765万3,000円となりました。

補正の主な内容は、人件費655万円のほか、消火セン(栓)等942万円、分水栓・メーター給水栓等276万円、国・県道舗装負担金2,800万円などの増額である。これに充てる財源としては、分担金及び負担金4,195万円、一般会計からの繰入金480万円などである。

**公平委員会委員
黒原氏、
斉藤氏の再選を同意**

黒 原 孝 雄 (昭和8. 2. 4生)
大野市元町12番2号

斉 藤 齊 一 (大正3.10.23生)
大野市下舌第25号甲14番地

▼昭和53年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)

今回の補正で4,121万8,000円を追加して、12億6,934万4,000円となりました。

補正の主な内容は、人件費を99万円減額し、高額療養費1,221万円を増額、また明年度以降の財源としての基金積立金3,000万円の増額である。これに充てる財源は繰越金4,121万円である。

▼大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

し尿くみ取料金を18ℓにつき現行の50円を65円に改正するもので、施行は昭和54年1月1日。



十二月十八日、議案に対する質疑ならびに一般質問が行われ、四名の方が理事者に質問し、その外にも多数の方々が無連質問を行いました。その主なものは教育施設の問題、上水道の問題、機構改革の問題に関するものなどでした。なお、これらの答弁には市長のほか関係課長が当たりました。

機構改革について

問 あらゆる情報を収集して、早いテンポで変化する社会情勢に対応するため、企画室を設けるとか、渉外的な役割をする課を設置するなどの機構改革を断行する考えはないか。

答 各課ごとに情報の収集に努めるべきであり、今日の複雑な行政機構の中で1課もしくは1係でもって情報収集することは困難である。現在の機構の中で、各課において意を用い情報に遅れないよう気をつけていきたい。

上水道事業について

問 加入促進の意味から6月30日までに申込んだ者を対象として、各戸給水装置工事費の2分の1を補助しているが、この補助期間を12月31日まで延長する考えはないか。

答 公平の原則からいって、約束どおり6月30日までの申込み期間を守っていた

人権擁護委員候補者

松田氏の推薦を同意

松 田 定 子 (昭和12.11.28生)
大野市中野町1丁目5番3号

だいた方に補助するのが公平だと思う。

問 南部地域の水道事業が完成した後、どの地区を何年度に計画実施するのか。

答 第2期工事は地域住民の十分な理解と協力が得られる態勢の見通しがつき次第踏み切りたい。全戸加入までには相当の年月を要すると思われるが、不公平のないよう大口消費者の問題など十分研究していきたい。

日中友好について

問 50年8月には肖向前参事官らが、53年4月には中国の高僧13人が、当市を訪れ宝慶寺に参拝している。また当市からは“県民の翼”などで、県内で一番多くの人たちが中国を訪れている。こうしたことから友好を進めていくために、日中友好協会を作る必要があると考えるが、どうか。

答 県では既に友好促進の県民会議が52年に発足している。当市としては特に宝慶寺などの関係もあり、気運が熱すれば支部を作ることに協力したいと考えている。

問 宝慶寺の開山は、洛陽の人だと言われているので、当市と洛陽の間で姉妹都市の関係を結んではどうか。

答 日中友好条約が既に締結されたことであり、中国との交流を一層密にする必要があると思う。姉妹都市関係を結ぶことは簡単に進まないと思うが、そうした方向に進むことが出来ればと考えている。

健康管理行政の具体的な 方策について

問 市民の健康管理を公約されているが公共的医療機関の設置、総合体育館の建設などについてどのような意向をもっているのか。

答 公共的医療機関については、とくと研究し前向きな姿勢で取り組みたい。総合体育館についても、ここ一、二年の間に直ちに出来る問題ではないので、国の新農業構造改善事業などを取り入れる中で、トレーニングセンターを建設したいと考えている。福祉センター建設については、来年度の予算の中で出来得れば積立てをしていきたい。

上庄中学校の 規模について

問 上庄中学校は適正規模で教育効果も十分あがるということであるが、53年4月現在で生徒数は200人を割っている。このような状態で将来とも十分な教育効

果が期待できるのか。

答 今後10年を見通しても1学年2学級を割ることなく、中学校教育は6学級あれば十分できる。ちなみに県下の中学校は75校であるが、そのうち25校は6学級以下である。

クラブ活動や学級指導の十分できる極めて適切な学校だと確信する。

有終南小学校の 移転改築について

問 有終南小学校を大野織産工場跡地に建設することについて、教育環境上数々の不適當な要素があるとして反対の陳情がなされているが、どのような方針で進むのか。

答 位置については適當であるとして既に決議されており、外に適當な土地があるわけでもないので、予定地において建設を進めるべく説得していきたい。

問 移転改築は無理押しせず十分納得を得た上でとのことであるが、遅れてもやむを得ないということか。

答 遅れることは決して好ましいことで

11月臨時会（第175回） 収入役 松田氏の選任を同意

松田 仁左衛門(大正8.2.28生)
大野市下郷24号18番地

はない。現在の南校が危険な校舎の中で子供をあずかっているの、地元と十分話し合いの上1日も早く予定地に建設したい。

転作作物の 価格保障制度について

問 転作奨励を進めていくために、市・農協・生産者の3者による転作作物の価格安定制度を設ける考えはないか。

答 当市の作付け転換の割り当てを130%達成していただき、農家の皆さんのご協力感謝している。大野市の特産である里芋については、54年度からは是非大野市独自の価格保障制度を作っていくと考えており、農協関係者と協議中である。

1 月 臨 時 会

昭和52年度決算を認定

第177回1月臨時会は、1月24日開かれ、会期を1日間と定め、12月定例会で閉会中継続審査となっていた「昭和52年度大野市歳入・歳出決算認定について」決算特別委員会の審査報告があり、委員長報告どおり賛成多数で認定することに決しました。なお意見・要望は次のとおり。

- ① 施設の補修について。52年度において、し尿前処理改修工事費として、1億3,438万円が支出されている。施設の大規模化、近代化に伴って補修に要する経費は多額になっている。しかも補修については国・県の補助がなく、一般財源と起債によってまかなわれており、将来財政硬直化の大きな原因になるものと思料されるので、耐用年数等を考慮して綿密な補修計画を樹立しておくべきでないか。
- ② 公害処理についての専門職員配置について。近年の科学の発達によって、公害の調査、処理、報告等は、専門的知識がなくては出来なくなっている。公害問題に十分対処出来るよう、専門的知識を持った職員の養成が必要ではないか。
- ③ 各種調査結果の積極的な利用について。地下水調査、真名川河川敷草地調査など、多額の委託料を支払って専門的な調査が行われその報告を得ているが、これらの報告が各事業に十分生かされていないきらいがある。調査結果を積極的に利用し、新しい施策の推進に努めるべきである。
- ④ 預託金について。52年度当初予定された預託金が、利用者がいないままに5,000万円の減額補正措置がされているが、ただ単に予定した利用者がいないままに、機械的に減額補正するというのではなく、利用されなかった原因を追求し、市民の真に要求している制度や対応策が講ぜられるべきではないか。

⑤ 補助事業について。昨年の決算認定の際にも言及されたが、市の事業に対する補助は多方面にわたり高額になっている。補助金の流れ、その用途について注意を払い、事業の成果、実績等について十分検討し、関係書類の整備、調整を指導し、貴重な財源が有効適切に市民に還元されるよう要望する。特に補助申請等にかかる事務の簡略化について、国・県と同様に補助要綱を再検討するよう、併せて要望する。

⑥ 会計事務処理について。監査委員の監査結果の報告にあるように、支出負担行為前に物品が納入されていたり、事前承認同の金額が課長専決の金額の範囲を越えていたり、工期、執行方法の記入もれ、あるいは課長印のもれなど数多く指摘されているが、これらは各課の事務処理上の責任は当然のことながら、会計課における支出負担行為の確認、審査にも問題があるのではないかと。十分照合、チェックし得る体制を整え、予算の正しい執行を要望する。

昭和52年度 大野市歳入歳出決算総括表

(単位 円)

| 会計区分 | 予算現額 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 差引残高 |
|--------------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 一般会計 | 5,711,831,200 | 5,705,836,626 | 5,517,059,677 | 188,776,949 |
| 国民健康保険 事業特別会計 | 1,279,464,000 | 1,247,197,111 | 1,098,602,972 | 148,594,139 |
| 簡易水道事業 特別会計 | 28,413,000 | 30,052,124 | 26,880,615 | 3,171,509 |
| 北部土地区画整 理事業特別会計 | 105,038,000 | 171,526,067 | 98,120,448 | 73,405,619 |
| 水道建設事業 特別会計 | 70,510,000 | 69,500,000 | 67,423,739 | 2,076,261 |
| 合 計 | 7,195,256,200 | 7,224,111,928 | 6,808,087,451 | 416,024,477 |

委員会の活動

——委員長報告から——

各委員会のおもな要望・意見など次のとおり

●建設委員会

水道事業の加入促進補助について。当該補助は昭和53年6月30日までに申込書を提出した者に対して、各戸給水装置工事費に対し2分の1の補助金を支給するものであるが、7月1日以後の申込者に対しても、今後の給水申込加入促進の見地から、応分の助成を講ずるよう特に要望した。

●産業経済委員会

①水田利用再編対策について論議が集中し、来年度に導入を予定している安値補てん制度には、市特産の里芋のみならず価格の不安定が自主転作の最も大きな障害になっていることにかんがみ、本市としてこれまで農家を指導し推奨してきたジャムイチゴ、ニンジンについても安値補てんをなすべきである。また特定作物として国が奨励している大豆、ソバについては、乾燥や選別に問題があって作物の等級が落ち、転作の意欲をはなはだしくそいでいる実状から、これらの技術的な研究にあたりとともに、乾燥機、選別機の導入に助成を行っていくべきであるとの強い要望がなされた。

②工場誘致について。工場誘致の困難なことは論をまたないが、産業構造を変革し若者の定着する市を建設するためにはぜひなし遂げなければならない大事業である。具体的な方策として専門的な職員

の配置、あるいは当地出身の政財界人への定期的な働きかけなどが考えられる。早急にそういった市の態勢を整え、市民の納得する取り組み方が必要であるとの意見が開陳され、特に市長の出席を求めて予算の裏付けなどを強く要望した。

●教育民生委員会

①学校の施設整備について。児童、生徒の教育環境を整備することは極めて大切なことであるので、振興計画等教育委員

決算特別委員会

昭和52年度大野市歳入・歳出決算認定について、慎重に審議するため特別委員会を設置する。委員は次のとおり。(◎委員長 ○副委員長)

◎佐島 真一 ○石蔵 一郎
 脇本 義昭 米村 喜六
 斉藤 秀雄 山本 武

会の基本的な整備計画に基づき、学校間に不均衡が生じないように市当局と折衝し施設整備の充実について全力を挙げて取り組むよう強く要望した。

②富田地区公立保育所の建設についての請願は採択。なお、本請願については幼稚園との関係もあるので、十分教育委員会と話し合いをするとともに、地域的な問題を考慮して場所を設定するなど、住民の要望を踏まえて適正な建設について検討するよう要望した。

| 市民から提出された請願・陳情 | | | |
|----------------|----------------|--------------------------------------|--|
| 採択されたもの | | | |
| 番号 | 件名 | 提出者 | |
| 請願15 | 市道への昇格について | 菖蒲池区長 石田 稔外5名 | |
| 請願24 | 公立保育所の建設について | 富田地区区長会長 松田 庄二外3団体 | |
| 請願26 | 通学路の拡幅・舗装について | 南春日野区長 長井 栄次外16名 | |
| 請願27 | 助成金の継続交付について | 大野魚商協同組合 大野魚残環境整備組合 組合長 岸野 作太郎 | |
| 請願28 | 市道の拡幅並びに舗装について | 富塚区長 中兼 正三外1名 | |
| 請願29 | 市道に編入と路面舗装について | 蕨生区長 中山 気一 | |
| 請願30 | 開成中学校の施設拡充について | 開成中学校PTA代表 山津 四郎 | |
| 陳情29 | 市道の舗装について | 下麻生島区長 竹田 強外8名 | |
| 陳情30 | カーブミラー設置について | 下麻生島区長 竹田 強外8名 | |
| 陳情31 | 市道編入について | 上荒井区長 水口 成一外9名 | |
| 陳情32 | 河川の改修・新設について | 春日1丁目上区区長 柿本 清之助外24名 | |
| 陳情33 | 市道拡張について | 錦町2区区長 林 俊男外5名 | |
| 陳情34 | 森日小学校の施設拡充について | 森目 松田 庄二外96名 | |
| 陳情35 | 市道編入・改良について | 中西出区長 穴田 敬造外6名 | |
| 陳情36 | 大師橋の拡幅について | 南六呂師区長 田原 哲也 | |